

[施策名 ⑤積算の合理化]

官庁営繕部営繕計画課

## 営繕積算の効率化

### ○ 施策の概要、進捗状況、継続性 (概要)

営繕積算システムの WINDOWS対応化を図ることで、ハードウェアに関する制約が大幅に緩和され、操作性の向上やデータセキュリティの強化が図られるとともに、他のアプリケーションソフトとのデータ交換も可能となった。また、積算システム関係者間の連携強化等のための仕組みも整備し、利用者の拡大を図った。

### (進捗状況、継続性)

平成11年度には WINDOWS対応化がなされたシステムとなり、これに伴う所期の目標を達成した。今後も引き続き積算システムの機能強化と利用者の拡大に取り組んでいく。

### ○ 施策の効果

発注者としては、積算システムを共同開発利用することで、システムの開発費用と工事標準歩掛り等の共通データのメンテナンス経費等の大幅な縮減が図られるほか、個別の積算業務においても多方面にわたる作業の効率化が図られる。また、副次的な効果として、利用機関における積算手法の統一化の進展に寄与している。

受注者としては、積算システムにより作成された数量公開内訳書（金抜き内訳書）を利用することで、入札価格や設計変更金額の検討に際して、労力と時間の節約が図られる。

### ○イメージ図

